

演劇熱演 全道へ弾み

根室高 優秀賞作品を一般公開



熱演した根室高校演劇部

保つて約170人が観劇した。

同校演劇部は、9月に根室市内で開かれた釧根支部大会で出場6校7団体中、唯一の優秀賞を獲得し全道出場を決めた。大会は無観客で行われたため、一般へのお披露目はこの日が初めて。

全道出場を果たした作品は、顧問の山本洋平教諭と部員で作り上げた「Shout out (シャウト)」。

家庭の都合で転校を繰り返している転校生の物語。東の果てにある田舎の高校にやってきた転校生が、学校の伝統行事「発表会」を通じて、今まで感じたことのない学校への愛着とクラス仲間への友情を育んでいくというもの。

高校生らしい発想と随所に「笑い」の要素を取り入れながらテンポ良く進む舞台が終わると、場内から大きな拍手が送られた。全道大会は11月18～23日、函館市で開かれる。

舞台に勢ぞろいした出演者を代表して早川瑚々部長(2年)は「全道では悔いのない舞台をこのメンバーで作っていききたいと思います。応援よろしくお願います」とあいさつしていた。

発表の舞台となったのは、新型コロナウイルスで中止となった市文化祭の代替事業の第2弾「演劇発表会」。

「市民作品展・ステージ発表」(市教育委員会主催)

15日の市総合文化会館小ホールには検温や手指消毒、ソーシャルディスタンスを

【根室】根室高校演劇部は、第70回全道高校演劇発表大会釧根支部演劇大会(道高文連主催)で優秀賞を受賞し支部代表となった作品をステージで披露し、市民から受けた大きなエールを2年ぶり14回目となる全道出場への弾みとした。(山本繁寿)